

2017年度
自己点検・自己評価報告書

専門学校 日産愛媛自動車大学校

2018年 5月 2日 作成

目 次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等	1
【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか	2
【1-2】 学校における職業教育の特色はなにか	3
【1-3】 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
【1-4】 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。	
基準2 学校運営	
【2-4】 目的等に沿った運営方針が策定されているか	
【2-5】 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
【2-6】 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化されているか、また、有効に機能しているか。	
【2-7】 人事・給与に関する制度は整備されているか	
【2-8】 教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか	
【2-9】 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
【2-10】 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
【2-11】 情報システム化等による業務の効率化が図れているか	
基準3 教育活動	
【3-1】 (目標の設定等)教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	
【3-2】 (目標の設定等)教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
【3-3】 (教育方法・評価等)学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	
【3-4】 (教育方法、評価等) キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	
【3-5】 (教育方法、評価等) 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている	
【3-6】 (教育方法、評価等) 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習棟)が体系的に位置づけられている。	
【3-7】 (授業方法、評価等)授業評価の実施・評価体制はあるか	
【3-8】 (授業方法、評価等) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	
【3-9】 (授業方法、評価等) 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	
【3-10】 (資格試験) 資格取得の指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけはあるか	
【3-11】 (教職員) 人材育成目標の達成に向け授業を行なうことができる要件を備えた教員を確保しているか	
【3-12】 (教職員) 関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務を含む)を確保しているか	
【3-13】 (教職員) 関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	
【3-14】 (教職員) 職員の能力開発のための研修等が行われているか	
基準4 教育成果	
【4-1】 就職率の向上が図られているか	
【4-2】 資格取得率の向上が図られているか	
【4-3】 退学率の低減が図られているか	
【4-4】 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
【4-5】 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	
基準5 学生支援	
【5-1】 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	
【5-2】 学生相談に関する体制は整備されているか	
【5-3】 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
【5-5】 課外活動に対する支援体制は整備されているか	
【5-6】 学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか	
【5-7】 保護者と適切に連携しているか	
【5-8】 卒業生への支援体制はあるか	
【5-9】 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
【5-10】 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	
【5-11】 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	
基準6 教育環境	
【6-1】 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	
【6-2】 学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	
【6-3】 防災に関する体制は整備されているか	
基準7 学生の募集と受入れ	
【7-1】 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	
【7-2】 学生募集活動は、適正に行われているか	
【7-3】 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	
【7-4】 入学選者は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	
【7-5】 学納金は妥当なものとなっているか	
基準8 財務	
【8-1】 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	
【8-2】 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
【8-3】 財務について会計監査が適正におこなわれているか	
【8-4】 財務情報公開の体制整備はできているか	
基準9 法令等の遵守	
【9-1】 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	
【9-2】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
【9-3】 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
【9-4】 自己評価結果を公表しているか	
基準10 社会貢献	
【10-1】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	
【10-2】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
【10-3】 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>教育理念、目的、育成人材像は、日産学園全体として【教育理念】【教育方針】にうたっており、それに従った教育を展開している。 メーカー校として、変化する業界のニーズにいち早く応えていく為、常に将来を見越した人材の育成構想を描いている。</p>	<p>【教育理念】 つねに時代をリードする人間力・技術力を兼ね備えた自動車エンジニアを育成し、自動車業界および社会の発展に貢献する。</p> <p>【教育方針】 1. 幅広い自動車技術とプロを目指すための実践力を習得させる。 2. お客様に感謝されることを喜びとするマインドとコミュニケーション力を育成する。 3. 社会人として愛され信頼される豊かな人間性と、たゆまぬ向上心を育む。 4. それらを「クルマの持つ魅力・可能性・人との係り」の学びを通して実現する。</p>

[1-1] 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行なう理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	4	明確に定められている	なし	学校案内パンフレット ホームページ
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方策を持っているか	4	教育方針に則り、具体的なカリキュラム編成を検討、あるいは、学生指導の方針・方策につなげている。	なし	
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	4	不定期ではあるが、環境をみつづ見直しを実施している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>理念・目的・育成人材像などは、明確に定められている。 今後も、定期的確認を含め、育成の人物像などの方針は環境を見つづ、見直していく。</p>	

[1-2] 学校における職業教育の特色はなにか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	4	メーカー校として、メーカー(日産)が販売会社に提供している、業界先端の整備技術・ノウハウ、また、お客さまへの対応技術・ノウハウをベースに、カリキュラムや学生指導を展開することで、整備業界をリードしていくにふさわしい人材の育成に努めている。	なし	学校案内パンフレット ホームページ

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>メーカー(日産)が販売会社に提供している、業界先端の整備技術・ノウハウ、また、お客さまへの対応技術・ノウハウをベースに、カリキュラムや学生指導を展開することで、整備業界をリードしていくにふさわしい人材の育成に努めている。</p>	<p>メーカーブランドにふさわしい、社会人としての行動ができることを体得させていく事に重きを置いている。</p>

[1-3] 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期構想を抱いているか	3	中期経営計画を策定している。その中で18歳人口の減少に伴う人員確保が大きな問題となっている。	人員確保にあたり、留学生や女子学生を増加させる方策を実行していく。	中期計画

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>中期経営計画の中で、安定的な人員確保が業界の発展、要望に応えるために重要と考えている。</p>	<p>人員確保の為、メーカー校の強みである資格取得率・就職率を向上させていく。</p>

[1-4] 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-4-1 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	3	周知徹底を図っている。 (理念・教育方針は職員室に掲示。学校外へは、学校案内、ホームページなどで公表している)	新入職員への浸透を強化する。	学校案内パンフレット ホームページ

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>周知徹底を図っている。更に、学生には折に触れて教育方針の浸透を図る。 (理念・教育方針は職員室に掲示。学校外へは、学校案内、ホームページなどで公表している)</p>	

基準2 学校運営

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>・運営方針・事業計画は、中期、年度と策定され、教職員に展開・周知される。</p> <p>・組織は、体系だって構成されており、運営するための仕組みは、“意思決定の規定” “人事規定・賃金規定” “コンプライアンス規定”等、既に整備され運用されている。</p> <p>一方、時代・環境の変化から、採用、人事、評価等の仕組みの見直しも求められており、順次対応していく。</p> <p>・業務の効率化のため、情報システムは既に導入されているが、新しいツールの登場とともに、今後、更に改善を進めていく。特に、学生に対する教育情報などの提供が挙げられる。</p>	

【2-4】 目的等に沿った運営方針が策定されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	4	・理念、教育方針のもとに、中期、年度の計画・方針を明確に定め、展開している。	なし	パンフレット(理念、教育方針) 中期計画 年度活動方針書
2-4-2 学校の運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	3	教職員には、活動方針が展開され、共有化されている。	新入職員への浸透に力を入れたい。	年度活動方針書
2-4-3 学校の運営方針を元に、各種諸規程が整理されているか	3	・基本的な学校の考え方に沿って、各諸規定は設定されている。	各種規定にない項目を整備したい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校の目的、目標に基づいた学校運営方針は明確に定められている。それは各教職員に伝えられ、活動の軸になっている。</p>	<p>学校の教職員の活動や、それに対する人事評価も、基本的な学校の考え方や、各年度の活動が指針に沿ったものになっている。</p>

【2-5】 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-1 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	3	中期事業計画と年度事業計画を定めている。	職員への浸透に力を入れたい。	中期事業計画・年度事業計画
2-5-2 学校は事業計画に沿って運営されているか	3	事業計画に沿って運営され、目標も高い達成率を上げている。	見直しが必要な項目を点検したい。	学校目標達成状況

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>中期事業計画をベースに、年度事業計画(活動計画・予算)を策定している。</p>	

【2-6】 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化されているか、また、有効に機能しているか。

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-1 運営組織図はあるか	4	組織図がある	なし	組織図
2-6-2 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	3	毎年、学校の目的、目標達成のため、組織編成を見直している。権限規定は実効性と効率を考え、明確に定められている。	縦の連携、横の連携が機能するよう心掛けたい。	組織図
2-6-3 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	3	職務分掌は明確になっている。(組織図、業務分担表)	重複部門の職務分掌を検討したい。	組織図・業務分担表

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校としては、組織図が各権限基準を示している。また、各教職員の職務については、業務分担表が示しており、各々有効に機能している。学園本部と当校の役割分担も実効性、効率を考え、必要に応じて見直しつつ運用している。</p>	

【2-7】 人事・給与に関する制度は整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-1 学校運営に必要な人材の確保と育成がおこなわれているか	3	中期、年度の計画を通じ、必要な人材の確保と、育成については、一定の教育を行っている。	新入職員の育成は課題である。	
2-7-2 人事考課制度は整備されているか	3	業績評価にて行っている。	今後とも業績評価の仕方は検討したい	
2-7-3 昇進・昇格制度は整備されているか	3	評価制度の一部としてそのプロセスは整備されている。	細部にわたる評価システムを構築したい。	
2-7-4 賃金制度は整備されているか	3	賃金制度は整備されている。	他校との違いを比較検討したい。	就業規則
2-7-5 採用制度は整備されているか	3	採用のプロセスは整備されている。	採用条件の緩和も検討したい。	
2-7-6 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	4	教職員の増減については、中期にわたり情報を把握している。	特になし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校運営の為に人事や賃金の制度は整備されている。しかし、人事考課制度、年金受給年齢の引き上げに伴う再雇用制度、また、今後の中途採用における運用面では、まだ整備の必要があり、今後、検討していく。</p>	

【2-8】 教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-1 意思決定システムは確立されているか	3	・学校内での職員会議・朝礼を中心に確立している。	職員会議の回数を増やして意思疎通をしたい。	
2-8-2 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されている	3	・校内での意思決定はその都度行っている。	各クラスを取り仕切る教員の間は、学年毎の会議にて各自の認識のすり合わせを行っている。	
3-8-3 意思決定の階層・権限等は明確か	3	・意思決定の階層・権限は各領域ごとに明確になっている。	学生に対しては、一次的には担当が指揮をすることになる。 学校と各担任の認識の一致が欠かせない。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
学校としての意思決定のシステムはほぼ確立している。		学校という特殊な環境から、学生に対する一次的な判断は、各担任が下す場合が多い。従って、教職員と学校の認識が一致していることが重要であり、折に触れて、確認する場を設けている。		

【2-9】 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-1 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	「法令順守」「常識が法である」という観点で、以下のような各領域で教職員・学生に対応している。 ・道交法順守、違法改造の徹底防止 ・地域住民と学校・学生寮・学生の共存	・学生に対する交通事故防止、車両の違法改造防止、地域住民への迷惑防止など、啓蒙活動を、根気強く継続させていく。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
自動車業界として、また、地域に根差す学校として、教職員、及び、多くの学生に対して、コンプライアンスには適切な対応をするよう、啓蒙、指導、を含む活動を行っている。		近年、車両の違法改造、あるいは、車両運行に対する業界を含む周囲の見目は大変厳しくなっており、学校も認識を新たに、学生の指導に取り組んでいる。		

【2-10】 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-10-1 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	学則、学NAVI(学生の行動基準)は学生に紙面にて公開すると共にHPでも公開している。またシラバスも公開している。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
教育活動に関する情報は、校内の公開が主であるが、HPでの公開も進めている。				

【2-11】 情報システム化等による業務の効率化が図れているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-11-1 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	3	・就職データを管理する基幹システムを整えている。 ・サーバーの利用で、効率的な情報共有を可能にしている。	教務データ・事務データのシステム管理を検討している。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
就職の基幹データのシステムを保有し、学生に関する情報を一元的に間違いなく効率的に管理することができている。 その他、教職員の業務処理も、共通サーバでのデータ共有など、効率化を進めている。				

基準3 教育活動

点検大項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
<p>教育理念・方針に沿って教育課程は編成されている。具体的には、国家資格や、業界のニーズを踏まえた、具体的な必要要件を積み上げ、カリキュラムを組み上げて、展開している。年々、授業は現在の実施状況の評価や、国家資格の要件、企業ニーズの変化により見直している。より、実践的な知識・技術を習得するために、キャリア教育の充実や、インターンシップなどの推進にも力を入れている。しかし、学生の社会人としてのモチベーションの醸成はまだ十分とは言えず、今後の課題である。教育の要となる教員の教育も、専門技術、教授力の両面での強化を図ろうとしている。しかし、まだ、教授力の強化が十分ではなく、今後、更に教育活動の充実を検討したい。</p>				

【3-1】(目標の設定等)教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1-1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	理念、教育方針に沿って教育課程の編成・実施方針を策定することは基本であり、理念・方針に則って中期計画、年度計画を策定している。	なし	中期計画 年度計画

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
<p>理念、教育方針に沿って教育課程の編成・実施方針を策定されており、適切な水準にあると考えているが、更なるレベルアップに努めたい。</p>				

【3-2】(目標の設定等)教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-2-1 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	教育理念、育成人材像や業界ニーズを、学科は「授業ベース」、実習は「実習STD」、職業教育は「就職STD」の形で、年次に応じた到達レベルや学習時間確保を明確にしている。	なし	授業ベース 実習STD 就職STD

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
<p>教育理念、育成人材像や業界ニーズを、学科は「授業ベース」、実習は「実習STD」、職業教育は「就職STD」の形で、年次に応じた到達レベルや学習時間確保を明確にしており、適切な水準にあると考えているが、更なるレベルアップに努めたい。</p>				

【3-3】(教育方法・評価等)学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-3-1 カリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	学科、実習いずれも学生が修業年限で到達レベルに達するために理解しやすいよう、教える順を綿密に検討し、内容を吟味し、体系的に編成している。	なし	学びの樹 実習STD
3-3-2 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	明確になっている。骨子の作成やSTDは企画支援部が策定し、具体的カリキュラムの作成は教務、教科リーダが実情に合わせて一定の範囲内で作り変えている。	なし	
3-3-3 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	教科書改訂や企業のニーズなどを定期的にチェックし、毎年、次年度に向けて、改定すべき点を確認し、織り込んでいる。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
<p>学科、実習いずれも学生が修業年限で到達レベルに達するために理解しやすいよう、教える順を綿密に検討し、内容を吟味し、体系的に編成している。それを毎年、教科書改訂や企業のニーズなどをチェックし、改定すべき点を確認し、織り込んでいる。</p>				

【3-4】(教育方法・評価等) キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-4-1 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	3	常に業界・就職先(メーカー・販社)のニーズに基づきカリキュラムの開発・改定を行っている。	学生が理解しやすいカリキュラムの見直しはタイムリーに行いたい。	法定外教科

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
<p>常に業界・就職先(メーカー・販社)のニーズに基づきカリキュラムの開発・改定を行い、法定外教科であるが、必須教科として時間を確保し、全員に履修させている。</p>				

【3-5】(教育方法、評価等) 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-5-1 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている	4	業界(販社、メーカー)の意見、動向を、定期的なアンケートや情報交換会で確認し、カリキュラムの内容に反映している。	なし	販社アンケート 情報交換会 (日産自動車)

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
業界(販社、メーカー)の意見、動向を、定期的なアンケートや情報交換会で確認し、カリキュラムの内容に反映している。	

【3-6】(教育方法、評価等) 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられている。

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-6-1 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられている。	4	企業の求める基本的な技術能力要件を1, 2年次、3, 4年次それぞれのレベルに応じて授業に織り込み、修得したことを企業に報告している。整備科は、2年次に内定先インターンを実施。一級工学科は4年次に1, 5ヶ月のインターンを正教科として実施している。	なし	4年インターン TS3級技能要件 TS2級技能要件

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
企業の求める基本的な技術能力要件を1, 2年次、3, 4年次それぞれのレベルに応じて授業に織り込み、修得したことを企業に報告している。整備科は、2年次に内定先インターンを実施。一級工学科は4年次に1, 5ヶ月のインターンを正教科として実施している。	

【3-7】(授業方法、評価等) 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-7-1 学生による授業評価を実施しているか	1	教科ごとの学生授業アンケートは実施していない。	今後アンケートの実施で、わかりやすい、理解しやすい授業改善に努めたい。	
3-7-2 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	2	各授業の状況把握・評価、及び、改善のアドバイスが来ていない。	管理監督者層だけでは、工数的な問題もあり、十分授業の状況が把握、評価できているとは言えない。一般の教員の間も、ベテラン、若手間で同様の指導ができるよう検討したい。	

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校での授業における、学生の評価(授業アンケート)、管理監督者の評価(授業聴講)は出来ていないが、他日産校への相互訪問で授業聴講や意見交換をして自校の授業改善に努めている。	

【3-8】(授業方法、評価等) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-8-1 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	職業教育に対し、外部関係者(企業)と連携(評価を受けつつ、相談)している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
職業教育に対し、外部関係者(企業)と連携(評価を受けつつ、相談)している。	

【3-9】(授業方法、評価等) 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-9-1 成績評価・単位認定、進級・卒業基準は明確になっている	4	成績評価・認定、その先の進級、卒業の基準も明確になっている。	なし	学則・学ナビ
3-9-2 他の高等教育機関との関係の単位互換に関する明確な基準があるか	3	大学院との単位互換については、協議してない。放送大学との単位認定について協議している。	放送大学受講者に対して集団入学での授業時数と単位認定について協議している。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
成績評価・認定、その先の進級、卒業の基準も明確になっている。 放送大学との単位互換については、企画本部と放送大学との間で協議している。	

【3-10】(資格試験) 資格取得の指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけはあるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	3	すべての法定教科は目標とする資格(国家一級、国家二級)のためのものであり、年間カリキュラムに織り込んで明確に定められている。直前の国家資格対策もカリキュラムに織り込んでいる。	国家一級試験傾向の変化に対応したカリキュラムの変更を行いたい。	年間計画 統一試験 特訓計画
3-10-2 目標となる資格をサポートできる教育内容になっているか	3	2年間、4年間の中で、上記カリキュラムで履修した内容の理解度確認を定期的に統一試験として実施。併せて直前の国家試験対策でサポートしている。	理解度は各人によって違うので、それぞれに対応したサポートをしたい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
目標とする資格(国家一級、国家二級)取得に向け、知識習得に必要な時間は、年間カリキュラムに織り込んで明確に定められている。その中には、直前の国家資格対策も含まれている。	

【3-11】(教職員) 人材育成目標の達成に向け授業を行なうことができる要件を備えた教員を確保しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-1 学科の育成目標に向け授業を行なうことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか	3	必要資格については、要件を満たしている。	特に教員経験の浅いものに、学生の指導力強化を図っていく事を検討する。	
3-151-2 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	一定の業界レベルに達している。	なし	
3-11-3 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	国家資格と受講した研修により、専門性を把握。授業への反映は、授業を通じて行っている。	職員への研修会発表も検討したい。	
3-11-4 教員の専門性を向上させる研修を行なっているか	3	外部研修、及び、担当科目を広げていく事で、各自の専門性の向上を目指している。	研修の場を増やす、研修に参加しやすい環境を整えるなどを更なる充実を検討する。	
3-11-5 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	3	管理監督者の授業聴講を通じて、評価するようにしている。	評価結果からの、各自の弱い部分の改善取り組みの強化を検討する。	
3-11-6 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	他校の授業聴講を踏まえた教授力の向上を行っている。	教科グループや、ベテラン教員を活用した研修を検討したい。更に、一層の外部の研修の活用も検討したい。	
3-11-7 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	3	定期的な会議により、協業している。	教員間のミーティングを多くしたい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
人材育成の為に、必要な資格、一定の専門性を有した教員を常勤で確保しており、その専門性や、教授力向上の為に、力量の把握や、教育にも力を入れている。特に、教授力の指導、教育は、まだ十分とは言えず、今後、更に充実を図っていく。	

【3-12】(教職員)関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務を含む)を確保しているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-1 関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務を含む)を確保しているか	3	企業(販社)からの出向者に授業を担当してもらい、より現時点での実践的な技術指導を行っている。	各方面の協力を得て順次増やしていきたい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
企業(販社)からの出向者に授業を担当してもらい、より現時点での実践的な技術指導を行っている。	

【3-13】(教職員) 関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-1 関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	3	メーカーの主催する技術研修による新技術の習得、専門学校協会の主催する指導力育成研修での資質向上などに取り組んでいる。	特に指導力育成分野での教育の更なる充実が必要。	

点検中項目総括 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

メーカーの主催する技術研修による新技術の習得、専門学校協会の主催する指導力育成研修での資質向上などに取り組んでいる。今後、更に指導力育成を中心に資質向上の取り組みの強化を検討したい。	
---------------------------------------------------------------------------------------------	--

【3-14】(教職員) 職員の能力開発のための研修等が行われているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-1 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	教員同様、コーチング、プレゼンテーション研修など実施している。	個人別キャリアプラン育成計画を検討している。	

点検中項目総括 特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

教員同様、コーチング、プレゼンテーション研修など実施している。	
---------------------------------	--

基準4 教育成果

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>退学率は、目標をクリアするとか、退学率を下げるのが優先ということではなく、育成のプロセスはきちんと行う中で、一人一人の学生のモチベーションを維持させることに腐心している。 教員の学生指導力の更なる向上も、行っていく必要がある。</p> <p>就職率は、事務局、教育部が連携して就職活動を展開することで、就活希望者100%の実績を継続している。</p> <p>資格取得は、二級整備士については100%取得の体制が確立している。ただ、国家一級整備士については、学生の増加に伴い学力の低い学生も入学する為、指導内容も含め学生のモチベーションの醸成が大きな課題である。</p>	

【4-1】就職率の向上が図られているか

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	就職(求職)対象者全員に対して、就職を斡旋し、毎年100%の実績を上げている。	なし	
4-1-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	就職対象者全員の、受験状況ならびに内定までの状況をリアルタイムに把握している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職のあっせんを希望している学生に対しては、例年100%の就職斡旋を行っている。	

【4-2】資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 資格取得率の向上が図られているか	3	二級整備士資格は毎年100%の取得に向けて、国家一級整備士資格は70%以上の取得に向けて対策を立てている。	1級整備士試験は過去の事例にとらわれることなく、すべてのことに目配りできるようにしたい。	
4-2-2 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	明確に把握している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
国家一級整備士資格を100%取得するにはどのような教授法があるか検討したい。	一級工学科は、100%の合格率が達成できるよう、今後の育成方法の改善が欠かせない。

【4-3】退学率の低減が図られているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-3-1 退学率の低減が図られているか	2	退学者の多くは専門講座の難しさ、反復練習への倦怠感、人間関係の煩わしさ等で最初の目標を見失っている。退学者数の減少に向け担任、学生、保護者間のコミュニケーションを図り、低減に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生個々の面談を密に進め、問題学生の早期発見、ケアを行うことで、退学者数の減少をはかっていく。 ・学校全体の課題として、より定量的に体系的に退学理由を明確化し中長期的に解決を図る。 	
4-3-2 入学数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	2	学校・寮での情報を全員が共有化できる環境を構築するよう努めている。	学校全体の課題として、情報の把握に努めたい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
退学率については、限度目標を定めてはいるが、目標ありきではなく、退学者を出さないことを目標に、教職員は一人一人の学生の日々の育成・指導を行っている。 また、退学させないことが目的ではなく、 <u>育成の活動はきちんとやる中で、前向きなモチベーションをどう持たせるかが教員の課題であり、そのための教員の指導力向上も今後図っていく必要がある。</u>	<u>今後は学校全体の課題として取り組んでいきたい。</u>

【4-4】卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-4-1 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	卒業生アンケート(就職先と卒業生の声)や、企業訪問時(インターンシップ訪問など)、就職先の技術大会への選抜の状況などを通じて把握している。	日産販社での情報は把握しやすいが、他社の情報取得が難しいので取得出来る様に努めたい。	
4-4-2 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	社内技術大会において、高い評価を得ている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
卒業生アンケート(就職先と卒業生の声)で、卒業生全体の状況を、企業訪問時(インターンシップ訪問など)、就職先の技術大会への選抜状況などで、個々人の状況・評価を把握している。	

【4-5】卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-5-1 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生アンケートや、企業訪問などを通じて得られたキャリア形成の為に必要な教育活動の情報は、カリキュラムに活用している。	知識・技術的な課題よりも、社会人・企業人としての基礎的力の充実が求められており、授業への落とし込みが必要。	

基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>進路・就職に関する支援体制は、全体として整備されている。 クラス担任、教育部が連携し、各ステップで具体的活動の指導や相談にあたっている。</p> <p>学生の健康面での支援では、近年メンタル面でのサポートの必要性が言われており、当校としても今後の課題とする。</p> <p>学生寮では、寮監が保護者に代わり、手厚い対応を取っている。</p>	

【5-1】 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	学園本部が、系列校の就職情報の一括管理を行っており、そのもとで、当校内の事務局職員と教員とが連携し、円滑に行われている。(求人情報の取得から、教員・学生への展開はスムーズであり、企業別・個人別の進捗状況は、リアルタイムで確認できる)	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・就職マニュアル ・CAPS
5-1-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	学内の企業ガイダンスを実施、企業を訪問し会社説明会にも参加している。	なし	
5-1-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	クラス担任との学生個別面談(就職先企業選択など)・事務局職員との個別面談(就職先企業の情報確認など)を随時アドバイスを行っている。	なし	
5-1-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	クラス担任・事務局職員・外部講師により履歴書の書き方から面接試験等のトレーニングまで実施している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>進路・就職に関する支援体制は、全体として整備されていると考えている。 各々の判断時期を含めたスケジュールを学生に展開し、各ステップで具体的活動の支援を行っている。 その間での相談事は随時、クラス担任を主に事務局も連携してサポートしている。</p>	<p>職業観の多様化の中、就職選択の意識が不十分のまま就職して、早期の離職などにつながる懸念もあり、職業観の醸成に更に努めていく。</p>

【5-2】 学生相談に関する体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	各正副クラス担任が、学校側からの定期・不定期の学生面談を行っている。また、学生の相談にも応じている。	職員間の情報共有でアドバイスが出来るようにしたい。	
5-2-2 学生から相談に応じる専用カウンセラーがいるか	1	専用カウンセラーは配備していない。	今後検討したい。	
5-2-3 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	2	留学生担当を置いて対応するようにしているが、繁忙期には他職員が応援する体制をとりたい。	試行錯誤の状態でも今後経験を積んでいきたい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>カウンセラーの配備などを行っていないため、学生の相談は、担任を中心とした教員対応で行っている。</p>	

【5-3】 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-3-1 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能されているか	4	・学生支援機構の奨学金制度、特待生による学費減免制度、寮費の減免制度、女子学生への減免制度を設けている。また、各家庭の事情に応じた分納対応などを行っている	なし	募集要項(奨学金)
5-3-2 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	4	・学費の分納を希望する学生・保護者には、柔軟に対応している	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生の経済的支援は、全体的に整備されていると考える。 (学生支援機構の奨学金制度、特待生による学費減免制度、寮費の減免制度、女子学生への減免制度を設けている。また、各家庭の事情に応じた分納対応などを行っている。)</p>	

【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制はあるか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-4-1 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	4	・在学中は、毎年、健康診断を実施し、異常のある学生に対しては、再検診を受信させている。	なし	
5-4-2 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	・教育部が、定期健康診断の結果をチェックし、カルテを保存。 ・救急(怪我など)には、教育部、事務局が窓口になり対応。	なし	
5-4-3 学生からの健康相談等に応じる医師・看護師等がいるか	4	・委託している校医がいて、健康相談等対応している。(非常駐)	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校保健安全法に基づき、毎年定期健康診断を実施し、その結果を管理している。学生からの健康相談は、非常勤の校医が対応するが、近年言われているメンタルへの対応については、今後の検討課題としたい。		

【5-5】 課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-5-1 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	1	クラブ等の正規のものが無いので支援していない。学年からの活動要望があるときは、その都度費用を負担している。ボランティア活動は要請があれば有志で参加している。	今後地区住民・他学校との交流を推進する活動には支援して行きたい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
クラブ活動を実施した時の顧問の負担が大きく、積極的な支援を行っていないが検討したい。		

【5-6】 学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-6-1 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	・男子学生に対しては、新入生全員を収容できる規模の学生寮を保有している。 ・高学年学生、女子学生に対しては、アパートなどを斡旋している。 ・寮監が寮生の生活、健康維持のフォローまで広く保護者代わりに対応している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生寮は男子のみで、新入生全員を収容できる規模で対応している。寮監が、寮生の生活の面倒を保護者に代わり親身にフォローしている。		

【5-7】 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-7-1 保護者と適切に連携しているか	4	保護者とは、必要に応じて担任からの電話連絡、面談を行い、密な連携をとっている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
保護者とは、必要に応じて担任からの電話連絡、面談を行い、密な連携をとっている。		

【5-8】 卒業生への支援体制はあるか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-8-1 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	2	校友会(同窓会)は組織化されていないが、随時同期の仲間が懇親会を開いている。	同窓会組織を立ち上げられるよう検討したい。	
5-8-2 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	企業の採用担当者から、随時卒業生の現況確認をしている。また、個別の制度は存在しないが、卒業生から相談があれば、随時対応している。(就職先の相談など)	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
校友会(同窓会)の定例活動はなく、随時有志が行動している程度である。卒業生のフォローについては、個別の相談への対応ということで行っており、体系化はしていない。				

【5-9】 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-9-1 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	NA	資格取得と連動した課程しか持っていないため、社会人に対する生涯講座のような授業環境はない。また、就労しつつ資格を取る、夜間のような課程も持っていない。(そうした授業体制が取れない)	単体での社会人向け個別の講座は、今後のニーズによっては設ける可能性もある。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
資格取得と連動した課程しか持っていないため、社会人に対する生涯講座のような授業環境はない。また、就労しつつ資格を取る、夜間のような課程も持っていない。(そうした授業体制が取れない)				
社会人が資格取得を目的に退職して入学する時は、教育訓練給付金の対象講座 受講学生として対応している。				

【5-10】 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-10-1 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	毎年、数校の高等学校のキャリア教育(職業選択)の一環としての専門学校見学を受けれている。高校に出向いての模擬授業も数校、毎年行っている。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
毎年、数校の高等学校のキャリア教育(職業選択)の一環としての専門学校見学を受けれている。高校に出向いての模擬授業も毎年行っている。				

【5-11】 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-11-1 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	2	卒業後に同じ資格教育を再度行うプログラムは存在しない。	現在国家一級取得を目指す卒業生に再教育プログラムを準備中である。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
卒業後に同じ資格教育を再度行うプログラムは持たないが、業界のニーズにより、検討したい。しかし、二級整備士を取得した卒業生が、一級整備士取得を目指すために、再入学することは考えられる。				

基準6 教育環境

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>施設、設備は、教育上の必要性に鑑み、中期計画、年度計画を通じて、計画的な更新を行っている。 また、それらは、適正に定期・不特定のメンテナンス下に置かれている。</p> <p>教育の一環として、学外実習(新入生研修/国内研修等)・インターンシップ(各課程最終年次)の全てを実施している。しかし、一級工学科以外のインターンシップは、公的な内容の縛りがないため、インターンシップ先により内容に差が生じている。学校として必要な作業の実施を相手先企業に要望していく。</p> <p>防災に対する体制は整備されている。特に、実習中の事故防止の為に学生指導を怠らないこと。大規模災害に備え、防災訓練を継続的に実施する事を重視して実行している。</p>	

【6-1】 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	カリキュラム対応/新車・新技術対応ができるよう年々の整備・更新している。	なし	
6-1-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	3	実習後の車両整備、定期的の機器の点検整備を実施している。	施設については年度ごとに見直している。	
6-1-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	3	中期での構想、年度での実行計画の形でやっている。	実行計画と実施状況に差が生じないように見直している。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>施設、設備の更新については、教育上の必要性に鑑み、中期計画、年度計画を通じて、計画的な更新を行っている。 機器の整備については、専門業者による定期的メンテナンス、教員による実習後の復元の体制で維持している。</p>	

【6-2】 学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-2-1 学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	学外実習(新入生研修/国内研修等)・インターンシップ(各課程最終年次)を実施している。	・一級工学科のインターンシップは、養成施設の指定基準があり、内容が決まっているが、そのほかの課程については相手先により、実習内容に差が生じている。学校が必要と考える実習の実施を、引き続き、お願いしていく。	
6-2-1 学外実習・インターンシップ、海外研修等について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	3	各々実績を把握し、教育効果を確認している。 (一級のインターンは評価システムがある。その他インターン/学外実習は実施後のレポートで確認を行っている。)	・一級以外のインターンシップも、一級課程のようにきちんと評価する仕組みの検討が必要。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>教育の一環として、学外実習(新入生研修/国内研修等)・インターンシップ(各課程最終年次)を実施している。</p>	

【6-3】 防災に関する体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-3-1 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	2	・安全第一で避難することを優先する。	<u>寮生に対する防災グッズの備蓄を検討している。</u>	
6-3-2 災害の起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4	・廃油は屋外の保管庫で保管し明示している ・実習棟内の簡易給油タンクは、設置エリアを明示している ・上記内容は教職員、学生に周知している	なし	
6-3-3 実習時等の事故防止体制は十分か	4	・入学時に、安全教育を行い、以降、新しい機器の扱いの度に、関係する指導を行っている。 ・実習中は、担当教員が、安全に関してはとりわけ厳しく指導にあたっている。 ・他校を含めた事故情報は、速やかに教職員・学生に伝達し、類似災害の発生防止に努めている。	なし	
6-3-4 万一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	・学生は専門学校協会が窓口となる総合保険に加入 任意の傷害保険も斡旋している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>防災に対する体制は整備されている。特に、実習中の事故防止の為に学生指導を怠らないこと。大規模災害に備え、防災訓練を継続的に実施する事を重視して実行している。 ただし、寮について、防火訓練に重点を置いている。</p>	<p><u>実習棟、学生寮の耐震工事を早期に実施すべく検討している。</u></p>

基準7 学生の募集と受入れ

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生募集の活動は、学校の情報(資格取得実績、就職実績、経済的なものを含めた学生支援の仕組み、など)をホームページ、高校訪問、オープンキャンパスなどを通じて、できるだけわかり易く、正確に伝えている。</p> <p>対象とする学生も、近年の志望校選定の早期化に伴い、高校2年生を中心とした活動にシフトするなど、環境の変化にも対応している。</p> <p>しかし、結果としての応募状況は、近年、厳しいものがある。</p> <p>背景には、自動車整備士を目指す学生が、減少の一途をたどっていることがある。これに対し、16年度も国交省、メーカーを含め、対応の動きを見せており、当校もこれに呼応して環境の改善にも努めたい。</p> <p>入学選考は、学力試験、面接を基本として、AO、指定校試験などの要件に合わせ、適正、かつ、公平に行っている。</p>	<p>生徒の応募者数は自動車業界への就職者数に直結するので、大学校・販社一貫教育のメリットから生徒に対し販売会社推薦入学制度の紹介を実施している。</p> <p>大学校に入学して良かったと思ってもらえる学校づくりに努めたい。</p>

【7-1】 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	3	当校を志望すると思われる地域の高等学校には、学校のリクルータが直接訪問し、当校の各種情報を進路担当教員や学生に提供している。	HPを始め、各種情報媒体を利用してリアルタイムに情報を発信したい。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>当校を志望すると思われる地域の高等学校には、学校のリクルータが直接訪問し、当校の各種情報を進路担当教員や学生に提供している。</p>	

【7-2】 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	年度計画を作成し、目標に対する諸活動を明確にしている。また、活動結果を月次で振り返り対策を実行するなどPDCAをまわしている。	なし	
7-2-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	できる限り臨場感あふれるパンフレットの提供やタイムリーな情報を提供するホームページ、更にオープンキャンパス参加者には、別途学校に対する質問等をまとめた資料を提供している。	なし	学校案内パンフレット 学校ホームページ
7-2-3 志望者等の問い合わせ・相談に対する体制があるか	4	事務局が、問い合わせ、相談の窓口となっており、電話やオープンキャンパスでの相談などに、きちんと対応している。	なし	
7-2-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	3	環境変化により応募人数の変化はあるが、募集定員を満たすよう努力している。	専門学校との選択時期が、年々早まる中、活動の早期化とIT媒体の活用を進めていく。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生募集は、中期計画、年度計画に則り事務局を中心に活動している。</p> <p>応募者が正しい選択ができるように、わかり易く、誤解のない情報をパンフレット、ホームページをはじめとした各種メディアで提供している。</p>	

【7-3】 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 募集活動において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は、パンフレット、ホームページなどに掲載し正確に伝えている。	なし	学校案内パンフレット 学校ホームページ
7-3-2 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	3	卒業生の活躍については、学校案内パンフレット等に掲載している。そのことが、応募者の一部に影響している事は確認しているが、全体として募集に対してどれほど貢献しているかを数値化することは難しい。	卒業生の国家資格取得率が学生募集に貢献していると思いが数値化は難しい。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生募集活動において、当校の資格取得、就職状況は、きわめて正確に伝えられている。(学校パンフレット、ホームページなど)</p>	

【7-4】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-4-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	AO入試、一般選考、推薦選考すべて、基準に基づき公平に合否判定を行っている。	なし	
7-4-2 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	各入試終了後、まとめている。 (出願数、合格数、不合格数、辞退者数等)	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
各種選考に応募する条件も、極めて明確に示されている。 試験自体は、筆記試験、面接試験の評定を基に、きわめて公平に選考を行っている。ただ、推薦学生は筆記が無い為、入学前あるいは入学後のフォローを徹底させている。	

【7-5】学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-5-1 学納金は、教育内容、学生及び保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	4	妥当と認識している。 (教育内容、世間相場を考慮して改正をおこなっている)	なし	募集要項
7-5-2 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	学科毎に正確に把握している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
妥当と認識している。 学納金納入への保護者の不安解消のためにマネープランを作成し説明している。	

基準8 財務

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>愛媛校の財務状況は、累計の消費収支差額も常にプラスの状態である。その他の財務値を含め、健全な財務状況と評価を受けている。</p> <p>今後、施設の老朽化に伴う改修費用が増加すること、募集環境が、更に厳しくなっていく事も予想される中、募集目標の達成、経費の有効活用(教育充実への費用の確保、他の経費削減)が財務の健全を維持する為に、一層重要な要素となってくる。</p>	

【8-1】 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4	安定している。	なし	資金収支計算書 貸借対照表
8-1-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	4	財務諸表により、その推移を把握している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>安定している。 (愛媛校は、累計繰り越し収支も常にプラスであり、財政の基盤は安定している)</p>	

【8-2】 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 年度予算・中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	4	有効、かつ妥当なものになっている。	なし	
8-2-2 予算は計画に従って妥当に執行されているか	2	予算管理体制を構築し、適正に実施していきたい。	各活動ごとに予算を立て月次フォローすることが必要	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>目標を達成すべく、年度の計画は立てられている。その予算執行は、計画を下回ることなく実行されている。</p>	

【8-3】 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	適正に行われている。	なし	
8-3-2 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	4	妥当な責任体制・スケジュールで実施されている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>公認会計事務所により、毎年厳正に監査が実行され、監査報告書が提出される。</p>	

【8-4】 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-4-1 私立学校における財務情報公開の体制整備はできているか	3	公開準備に向けて会計士と協議している。	今後は、広く一般への公開を検討したい。	
8-4-2 私立学校における財務情報公開の形式は考えているか	3	会計士と協議している。	学校HP上で以下の公開をしている。 ・資金収支計算書以外も公開を検討したい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>これまで財務情報は関係者の求めがあっても閲覧を許可しなかったが、今後HPを通じて、一般に公開することしたい。</p>	

基準9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>本校は、学校教育法、専修学校設置基準、一種養成施設認定規則、などの該当する法令には準拠しており、適正な運営が図られている。</p> <p>学生の法令順守という意味では、近年社会問題にもなっている車両の違法改造、道交法の順守について、一層の啓蒙を図っていく必要がある。</p> <p>情報のセキュリティや、個人情報保護については、システムの保護、教職員への周知の両面で徹底している。しかし、ネット社会の現在では、ツイッターなどで校内から容易に情報が流出しやすい環境にあり、学生の啓蒙に力を入れる必要がある。</p> <p>自己点検、自己評価をこの形で実施して4年目となる。自己点検、自己評価の公開については、関係者評価も併せて実施し、HPでの公開をしたい。</p>	

【9-1】 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

9-1-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	4	・該当する法令は遵守され、適正な運営が図られている。	なし	
9-1-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	・関係する法令等について、教職員には展開・周知を図っている。 ・学生にも、関係する部分については、啓発活動を行っている。	違法改造に関するもの、道交法に関するものなど、更に周知徹底の為の啓発活動を行う必要がある。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>法令や設置基準、監督官庁の認可基準等、定められていることは適正に遵守されている。</p> <p>しかし、近年、社会問題ともなっている車両の違法改造や、道交法の順守に関してまだ、学生に十分周知されているとは言えず、引き続きの啓発活動が必要。</p>	

【9-2】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関して、その保護のための対策が取られているか	3	・統一の教務・学務のシステムでは、適切なアクセス権が設定され、不必要なデータへのアクセスが出来ないようにしている。 ・教職員には、情報セキュリティや、個人情報保護に関する教育を通じ、情報の重要性、扱いの注意を徹底している。	近年はツイッターなどへの投稿の形で、校内の情報が容易に外部に流出する危険がある。そうした視点で、更に対策を考えていく必要がある。	個人情報管理基準
9-2-2 個人情報に関して、教職員・学生等に関して啓発活動を実施しているか	3	教職員には、「情報セキュリティガイドライン」教育や、「学生個人情報利用目的」教育などで、その保護の対象や重要性を教育している。	引き続き、教職員に対する啓発活動を行っていく。	・情報セキュリティガイドライン ・学生個人情報利用目的

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校としての情報管理、特に情報のセキュリティ、個人情報保護の視点でのハード(データの保護)、ソフト(教職員教育)の充実を進めてきている。</p> <p>外部に対しても、学生・保護者の情報についての管理については利用目的を明確に通知するなど、情報開示を行っている。</p> <p>ネット社会の広がりから、校内の個人情報は、容易に流出しやすい環境にあることも鑑み、更に対策を考えていく必要がある。</p>	

【9-3】 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

点検小項目	点検の進み具合	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	3	従来から、年度の振り返り(点検・評価)は行ってきた。	教職員全体への振り返りを実施したい。	
9-3-2 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	4	方針は定められている。	なし	
9-3-3 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	一部の教職員に方針は伝わっている。	今後は、職員会議等を通じてその内容を、周知していく。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>自己点検・自己評価は、この形で実施するのは4回目となる。(従来も、学校の活動計画の振り返り・評価は実施してきた)</p> <p>顕在化する問題点に対しては、各々、必要な手段を講じている。</p>	

【9-4】 自己評価結果を公表しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 自己点検・自己評価結果を公表しているか	4	外部に公開している。	なし	
9-4-2 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	4	公開に関する方針は確立されている。	なし	
9-4-3 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	公開に関する方針は、教職員など学校内部の関係者には正確に伝わっている。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
自己点検・自己評価をこの形で実施して4年目となる。187年度も、関係者評価も含め、実施し、HPでの公開をしている。				

基準10 社会貢献

点検大項目総括		特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
地元企業、関係団体に対しては、要望があれば、保有施設・設備の貸し出しや、当校で可能な講座の提供も、行っている。 また、関係する社会問題等に対しては、積極的に学生や、教職員に啓蒙活動を展開している。 ボランティア活動としては、日々の校外清掃を実施している。				

【10-1】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	・高校:職業教育への支援活動(専門学校見学) ・企業:地元企業の新人への初級整備技術教育の実施 地元企業の整備技術大会の人的・物的支援等を行って連携を深めている。	なし	
10-1-2 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	3	地元の企業、団体には、要望があれば、学校の施設・設備を提供している。	校務に支障の無い範囲で開放している。	
10-1-3 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	3	学校が関係する重要な社会問題に対しては、学生・教職員に対し啓蒙活動を行っている。(道交法違反。車両の違法改造。個人情報保護。省エネ。など)	今後も、必要な啓蒙活動は実施していく。	
10-1-4 学校として重要な社会問題に具体的に取組んでいるか	3	学校が関係する重要な社会問題に対しては、学生・教職員で、具体的な取り組みを行っている。	今後も、必要な取り組みは実施していく。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
地元企業、関係団体に対しては、要望があれば、保有施設・設備の貸し出しや、当校で可能な講座の提供も、行っている。 また、関係する社会問題に対しては、積極的に学生や、教職員に啓もう活動を展開している。 (道交法違反。車両の違法改造。個人情報保護。省エネ。など)				

【10-2】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	・学校では、毎日、学校周辺の清掃を行い、専修学校、地区の清掃行事にも参加している。	ボランティアの呼びかけがあれば学生に展開し参加を呼び掛ける。	
10-2-2 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	3	学校、専修学校主催の定期清掃以外の、学生個人のボランティア活動は、把握していない。	学校経由のボランティア参加者は把握している。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
学校では、地域全体がきれいになるようにと、清掃を通して他の方との交流を進めている。 特に今年は愛媛国体に向けて多くのボランティア活動が出来た。				

【10-3】 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2	限られた職員しかいないので実施できてない。	職員に余裕が出来た段階では検討したい。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
地元企業から要請があれば検討する。				